

ほっふ
すてっふ
じゃんぷ

塾長 西川 陽祐

特訓進学塾



2012年度版 第6号

塾長コラム

あんぱんち

第二十九回

朝晩はぐっと涼しくなりました。体調をくずす子もいるようです。ご注意ください。小学6年生が修学旅行に、中学2年生が稲武野外学習に、それぞれ出かけ、その思い出話がたくさん聞かえてきます。子どもたちは、学会や作品展、文化祭などの準備にいきがしくしているようです。それぞれの活動に、精一杯取り組んでほしいですね。



さて、「教える」ということに興味深い記事を読みましたので、ご紹介したいと思います。

筑波大学の

研究を紹介する

記事です。英

単語の学習過程

で、おもちゃ

のロボットに

わざと間違い

をさせます。子

どもたちには、

その間違いを

訂正させるようにします。すると、学習の効率が高まったという研究です。

つまり、人に教えることで、学習の効果が上がったということです。昔から、人に教えることでより理解が深まるということは、広く知られています。この研究が、それを裏付けたということになるのでしょうか。自分の指導によって学習するように見えるロボットは、子どもたちのモチベーションを高めたのでしょうか。

人に教えていると、自分が何を理解できていないかに気づくことができます。また、人に教えた部分は忘れにくくなります。理解がより深まることにつながるのでしょうか。私も、この仕事について間もない頃、子どもたちに教えるための準備で教科書を読んでいて、子どもの時は、よく分からなかった部分に分かるようになったという体験をしました。人に教えるレベルまで理解しようとする、より理解が深まるという経験は、きつと皆様にもあると思います。

例えば、ご家庭でお子様が学習をしている時、保護者の皆さまが生徒役になり、お子様に先生役をさせてみる、という学習も、楽しくできて、効果的だということ。小学高学年や中学生では、子どもたちどうしが教え合う勉強会も、時にはいいのかもしれない。

私も、先生という仕事をしていると、「自分たちが教えるよう、教えなければ」という気持ちが行き止まりです。しかしながら、生徒が理解をより深めるためには、先生と生徒、双方のやりとりが大切だとよく先輩に指導を受けたことを思い出しました。「教えることは学ぶこと」という気持ちを持って、これからはお子様たちの指導にあたらうと思います。

塾長 西川 陽祐

今月の学問のすすめ

《もとの文》

「天は人の上に人を造らず、

人の下に人を造らず」といへり

《今のこぼれ》

「天は人の上にも下にも人

をつくらなかった」といわれ

ている。

人はみな平等なんだ。

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」は、『学問のすすめ』のなかでも一番有名な言葉です。おぼえておきましょう。

天は人間をみな平等につくったという意味です。みんな人間が平等というのは、あたり前だと思いかもしれないよね。

でも、江戸時代は生まれた時に身分がきまっていたんだ。いまでも人種などでの差別は世界にのこっている。差別がある社会で一番いけないのは、お金がないと学校にいけないことです。そうしたら、お給料がひくい仕事にしかつけない。ちゃんとした仕事につけないかもしれない。

そうするとその人のこどももまたましくして、学校にいけないよね。その家はびんぼうがずっとつづいてしまいます。そんな社会はいやだよ。

みんながおなじところからスタートして、努力した人がちゃんととめられる社会にしなければいけません。

諭吉先生は、人にはみな命や自分のもっている家やお金や、誇りをたいせつにする「権利」があるといっている。

ます。そういう権利がきちんともらえる社会をつくらう、といっているのが『学問のすすめ』です。『こども「学問のすすめ」(齋藤孝著、筑摩書房、11月30日発行)』

2011年

「あたりまえだけど、とても大切なこと」

ルール 37

校外学習や旅行から戻ったときには、わたしとはもちろん、付き添ってくれた人全員にお礼をいおう。きみたちを連れてゆくために時間を割いてくれた人に感謝し、よい経験ができたよろこびを態度であらわすのだ。

わたし自身はきみたちに感謝されたいと思っているわけではない。ただ、だれかがわざわざ時間を割いて何かをしてくれたときには感謝の気持ちをあらわすのがあたりまえであることを教えたいと思っているだけだ。

ルール 38

校外学習や社会科見学に出かけたときに、エスカレーターに乗らなければならないことがある。そういうときには、エスカレーターの左側(地域や国によっては、右側)に立とう。そうすれば、急いでいる人は右側(左側)を歩いて上ることができるからだ。エレベーターや地下鉄(電車)に乗るとき、あるいは戸口を入るときには、降りる人や出る人が優先であることをわすれてはいけない。